

TOPPAN デジタルと gumi、
譲渡不可トークンの SBT の活用において協業を開始
第一弾として SBT を活用し、リアルとバーチャルの次元を超えて
“推し”への想いを表示できる「推し活コンテンツ」の開発を開始

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN デジタル株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:坂井 和則、以下 TOPPAN デジタル)と、株式会社 gumi(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:川本 寛之、以下 gumi)は、譲渡不可のトークンである SBT (ソウルバウンドトークン)※1を活用し、ユーザーによる「推し活」の実績をリアル・バーチャル相互で活用できるビジネスの実現を目指し、2024年6月上旬より本格的に協業を開始します。

TOPPAN

gumi

TOPPAN デジタルの、アバターの真正性を証明する管理基盤「AVATECT®」が提供する SBT 発行・検証機能と、gumi が主体となって推進し、「推し活×web3」による新たなトークン経済圏構築を目指している『OSHI3』プロジェクトを組み合わせ、SBT を活用した「推し活」実績管理を実現する新規事業を創出します。

「AVATECT®」と「OSHI3」プロジェクトを組み合わせることで、ユーザーはゲーム内の実績を SBT として保有・管理、第三者へ提示することが可能となり、プラットフォームに依存せず高い信頼性を確保した上でユーザーの実績が保証されるようになります。

■ 本協業の背景と狙い

TOPPAN デジタルは、2022 年よりアバターの真正性を証明する管理基盤「AVATECT®」を提供しています。「AVATECT®」は、アバター本体の管理や本人認証に加え、アバターに SBT や NFT (非代替性トークン、Non-fungible token)、電子透かしなどを付与するサービスです。これによりアバターの不正利用やなりすましを抑止し、メタバース上でのプライバシーや著作権の保護を実現します。

gumi は、ブロックチェーン技術と、ゲーム等のコンテンツプラットフォームを掛け合わせることによって、既存の「推し活」をデジタル領域にまで拡張するプロジェクトである「OSHI3」を推進しています。また、gumi は 2024 年 3 月に、「OSHI3」第一弾コンテンツであるブロックチェーンゲーム「ファントム オブ キル -オルタナティブ・イミテーション-」をリリースしています。

本協業により、TOPPAN デジタルの「AVATECT®」で保有する SBT の発行・検証技術と、gumi が持つ「OSHI3」やモバイルオンラインゲームなどのノウハウを融合。両社は SBT を活用して、イベントなどのリアルと、ゲームなどのバーチャルを融合させた「推し活コンテンツ」事業の実現を目指していきます。

■TOPPAN デジタルの概要

本社:東京都文京区

事業概要:TOPPAN グループの DX 事業戦略策定、DX 事業の創出・推進・研究開発、IT インフラ提供

代表取締役社長:坂井 和則

HP: <https://www.digital.toppan.com/ja/>

■gumi の概要

本社:東京都新宿区

事業概要:モバイルオンラインゲーム事業、ブロックチェーン等事業

代表取締役社長:川本 寛之

HP: <https://gu3.co.jp/>

※1 SBT

Soul Bound Token の略称。譲渡不可な NFT。

※2 推し活

アイドルや俳優、キャラクターなどを様々な形で応援する活動。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上